

# 歴史班メンバーによるうつしの祭の感想

## 歴史班①さん

最後のうつしの祭で、今までと異なる点が多く、間違えてしまったり、こんがらがってしまうことがあったが、その時その時でしっかり判断をして本番に備えることができたから良かったです。また、自分の仕事を把握してできてはいたけれど、当日になるとやることがやっぱり増えることもありました。でもそのときはその時でしっかり対応して最後までスムーズに行えたから良かったです。

歴史班の発表をするときには写真や地図をうまく組み合わせ、なるべくそのページの文字数を減らすなど、見ている人がわかりやすいようにまた、理解しやすいように工夫して行えました。

今年は今までやったことのない係を担当して正直自分に務まるのか不安な部分もたくさんあったが、来てくださった人がしおりを見て必要な情報がわかりやすく読めるように工夫できたし、うつしの祭が終わってもしおりを見たら思い出せるような、見ている自分も満足のいくしおりを作ることができました。今まで調べてきたことなど、これを機に、伝えたいことを全部伝えることができたので良かったです。

## 歴史班②さん

総合的な学習の時間では、私は歴史班として参加しました。三年間更科地域の歴史や遺跡について調べ、発信してきたので、これが集大成となりました。

昨年とは形式が変わり、班が無くなったことで最初は少し戸惑いましたが、その分少ないメンバーで話し合いながら調べることで、自分が知りたいことを探求し、より伝えたいことを明確にまとめることができました。地域の方が「私も知らなかったの、ぜひ行ってみたい。」とおっしゃっていて、嬉しくなりました。

全体を通して、私は、自分の役割に責任を持ち、臨機応変に動くことができました。発表形式が変わったことで、仲間たちと協力し、ここまで作り上げることができたのでとても嬉しく思っています。これは、支えてくれた先生方や、ともに歩んでくれた仲間たちのおかげだと、今回振り返ってみて大きく感じました。

私は、これが最後のうつしの祭になりましたが、より自分のこと以外にも視野を広くして行動し、全校を支えていけるようになっていきたいです。これからも、更科の伝統と魅力を、たくさんの人に語り継いでいきたいと改めて思いました。